

作問指導

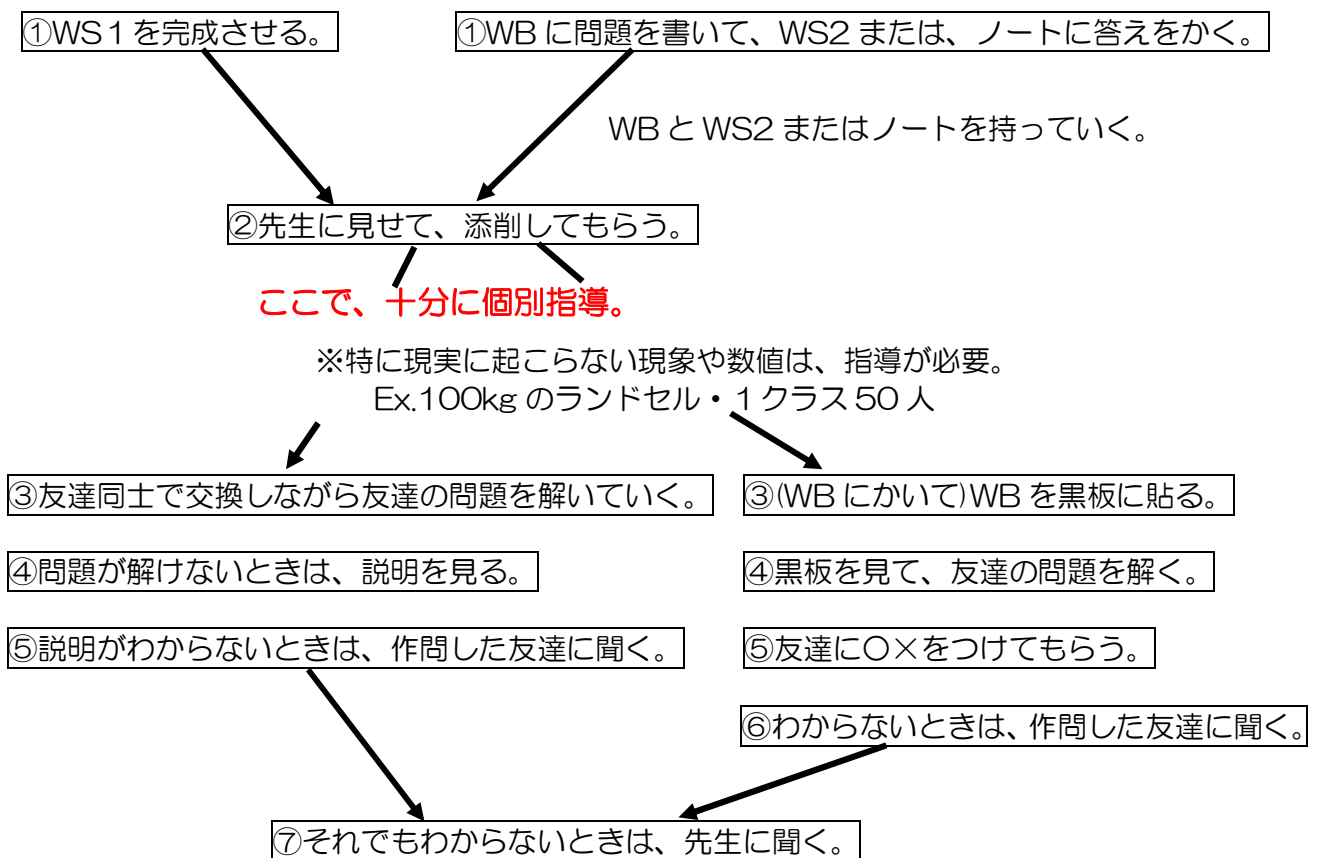
1. 学習のねらい

- 生活や遊びの中から算数の問題を見つけることによって、算数に対する興味・関心を持つ。
- 算数のよさや楽しさを感じ得する。
- 作問することで、学習内容を深く理解する。

2. 学習の実際

- ①教科書の問題を解いていく。(一斉指導)
 - ・ 絵や図をかいて解き方を説明させる。(Tは、補足説明等支援)
 - ・ できるだけ全員が、問題を解けるようにする。
 - ②T：この問題と同じような問題を作ってみよう。
 - ・ 数値を変える。
 - ・ 場面設定と数値を変える。
 - ・ 内容を理解し、新しい問題を作る。
- ※子どもの能力に応じて作問内容は変えていく。
※話型をつくってもよい。

3. 学習展開



※個に応じた細かい指導ができるのが作問指導のよいところである。

- ・ 子どもの能力に応じた作問内容。
- ・ 作問の添削指導の個別化。
- ・ 子どもの能力に応じた問題の選択。など

また、子どもたちのコミュニケーション能力を高めるためにも有効に働くと考えられる。
※最低「作問まで」最高「たくさん問題を解く」をねらう。

WS1

() くみ なまえ

() の問題をつかって、解こう。

(問題)

折 り 返 し

(図)

(しき)

(こたえ)

(説明)

わたしの問題の式と計算と答え
① () さんの問題の式と計算と答え
② () さんの問題の式と計算と答え
③ () さんの問題の式と計算と答え
④ () さんの問題の式と計算と答え
⑤ () さんの問題の式と計算と答え